

メキシコ短期留学報告書

応用生物科学部 醸造科学科 2年 40718120 長谷川加奈

1 当初の目的

私は高校生の頃から、アメリカに不法滞在しているメキシコ人のヒスパニックと話がしたいという夢があり、一度現地に赴くことで、実際にメキシコ人の文化や生活について触れたいという目的がありました。また、学科の授業でお酒の勉強もしているため、メキシコでは有名なテキーラやメスカルの勉強をしたいと考え、今回の短期留学に参加しました。

2 目的のために現地で活動した内容

私が短期留学した大学はチャピngo自治大学です。この大学には主に農業に関連した学部があり、農大にある学部と近い勉強のできる大学です。メキシコの気候ならでは、灌漑学科などもあります。

自分は短期留学に来た時点で英語もスペイン語もほとんど話すことができませんでした。しかし積極的に挨拶をすることや、翻訳機で拙い会話をする事で、他国から来た留学生やメキシコにいる多くの人達と交流することができました。日本人と話したいという学生は留学生懇親会などに参加するのですが、多くは緊張して日本人と話すことをためらいます。日本語はとても難しいので、うまく話せるかどうかをととても気にするからです。しかし、自分から話しかけに行くことでお互いに打ち解けることができます。また、農業実習を通じて観光地以外の地域に行き、治安などの面も見ることができました。

観光地となっている教会の前でお金を要求する人が複数人いるため、注意が必要です。特に年配の方が多く、貧しい暮らしをしていて地方から教会までお金を稼ぎに来ています。レストランでは定期的に子供達がテーブルに来てはお菓子を売りに来ますが、商品は割高です。無理に買う必要はありませんが、あまりにしつこい場合はきっぱりと断る必要があります。

道路の端には、先ほどの子供たち同様に水やお菓子、野菜を売る人を定期的に見かけますが、窓を開けているとしつこく売りつけられてしまうので車に乗っているときは出来るだけ窓は閉めておくことが望ましいです。中には道路でパフォーマンスをしてお金を稼ぐ人もいます。写真や動画を撮るとチップを要求される可能性がありますので気をつけたほうがいいです。

メキシコでは一般的にウチワサボテンという種類のサボテンが農作物として普及しています。ウチワサボテンの実の部分（トゥナ）を果物として、ウチワサボテンの茎の部分（ノ

パル)を野菜として栽培し、収穫しています。私たちはウチワサボテンの農場見学もしました。これらは普段の食卓に並びますが、最近では乾燥地帯で栽培できる作物として注目を集め、ウチワサボテンを使用したお酒や調味料などの開発も行われていました。

また、チャピngo自治大学の灌漑学科では、ウチワサボテンをコンポストに入れることによってより発酵を促進させていました。

メキシコは一日中日差しが強いので、太陽エネルギーを利用して発電することができます。

お酒は現地の人に事情を聞き、実際にお店で頼んで味を確かめる機会があります。テキーラの原料であるリュウゼツランの農場を見学することで、どのように収穫を行なっているのかを知ることができました。実際は木の幹の部分を削り、そこにたまった樹液を収穫します。

畜産の現場を見学した際は、大規模な農場と小規模な農場を見ることができました。見学に行った大規模農場では飼料にこだわりを持ち、乳牛を様々な区分で分けて飼育していました。産後、産前何ヶ月の牛なのか、一日の搾乳量はどれくらいなのかなど、細かく分かれています。

小規模な農場では牛は大きな広場に放し飼いの状態で飼育されています。とても人間に対して警戒心が薄く、かなりストレスを抑えた状態で飼育していました。

チーズ工場も大規模なものと同規模なものを見学しました。

大学ではチーズについて多くの説明を受ける事ができました。メキシコでは乳製品の加工は自由に行うことはできず、品質を管理しなければなりません。細菌をコントロールする為低温殺菌を行います。この方法はミオバクテリアと呼ばれる方法で、低温処理をしていないものに直接加工することもあります。その場合は生の乳を使った場合はその時牛がどのような健康状態だったかが重要です。低温処理されていないものは使用しないというのが基準になります。

ケソオワハカ (熟成チーズ)

ケソパネーラ (生チーズ)

ケソマンチェコ (メキシコで一般的) ヤギから生産されたもの (スペイン) 牛から生産されたもの (メキシコ)

この三種がチャピngo自治大学で生産されているチーズでした。熟成されたチーズは八ヶ月ほどもちます。フランスではメキシコとチーズの概念が違います。ケソマンチェコがチーズ、オワカハはチーズではないという扱いです。日本に持ち帰ることのできない種類のチーズもあるので、まだまだ世界には未解明のチーズがあることを知りました。

小規模なチーズ工場では、チーズを販売する際、細かな成分表示等がありませんでした。そのためその場所のチーズを買うのは近くの地域に住んでいる人間が多いようです。

3 目標達成の自己評価

留学先でメキシコ人だけでなく、コロンビア人の留学生とも友達になることができ、連絡先を交換できることもできたので目標は概ね達成することはできました。大学内でもスペイン語のみで会話する機会が多くあるため、スペイン語を話せないのが現地の人からは掘り下げた内容をお互いに話すことはできませんでした。留学生の何人かとは仲良くなることができましたが、挨拶の仕方が日本とかなり異なっていたため驚くことが多かったです。

お酒に関しては、メキシコのお酒は日本ではあまり知られていませんが、とうもろこしを使ったお酒など、地方で根付いているお酒が多くあることがわかりました。テキーラについても、ある限定された地域で生産されたリュウゼツランの酒をテキーラ、それ以外の地域のものをメスカルと呼ぶことを知りました。他にも日本では知られていない様々なお酒の種類については知ることができました。

4 今後の取り組み

今後は帰国報告会の後、短期留学で出会った人たちとより交流する手段が持てる活動をしていきたいです。そのために必要な費用の獲得方法や自分に合った言語の勉強の仕方だけでなく、自分が日本でどのような形でメキシコについて関われるかなどを考え、実行できるような取り組みを行なっていく予定です。まだ具体的は行動を提示することはできませんが、この短期留学によって得た様々な経験を活かせるようにしていきたいです。

5 持って行ってよかったもの

インスタント味噌汁:お湯が出ない場合使用することはできないが、体調が悪く食欲がない際に飲むと飲みやすい。

タオル:割れ物のお土産を包むのに効果的。

予備の下着:洗濯物が雨で乾かない時に使うことができる。スーパーにも売っているが価格は日本のものとあまり変わらない。

常備薬:急に腹痛が起き、同じ班員が体調を崩した時に使用する。

翻訳機: (携帯のアプリケーション)

ワイヤレスイヤホン:寮付近で深夜にパーティーが行われた場合、睡眠を補助する役割を担う。

スーツケースの空白:お酒などを買う場合はかなり重さが足されるため、お土産を多く買う方は荷物を極限まで軽くして持っていくと良いです。

ビニール袋:使用済みの洋服を入れるのに使う。

トイレットペーパー:トイレに備え付けてない場合があります。現地に着いて、スーパーで買うまでには1ロール持っておいた方がいいです。

ポケット Wi-Fi:大学にもありますがあまり電波が良くありません。

リップクリーム:とても乾燥した地域です、現地で買うと高いので日本で買ったものを使用した方がいいです。

長靴:農場実習で使用します。サボテンやリュウゼツランの農場に行く場合は針が貫通する可能性があるので出来るだけ軽くても丈夫なものが望ましいです。

ハンガー:寮やホテルにあるものでは足りない場合があるので折りたためる小さなものがあるといいと思います。

用意したが要らなかったもの

シャンプーとリンスとボディーソープ:日本でも知られているメーカーが売っているので安心して使用できる。

洗剤:荷物になるので現地で買った方がいい。

ノート:紙にメモを取るよりも携帯の方が文字を打ち慣れているので素早く入力できる。

変圧器:変圧器がなくてもだいたい日本の製品がそのまま使えます。

現地で使用したお小遣いの金額

生活用品 約 500 ペソ (2500 円)

お土産 約 3400 ペソ (17000 円)

6 次年度以降の参加者へ、事前に準備、勉強しておく事

・一応しおりには二週間のスケジュールが記されていますが、予定変更になることはかなり多く、特に現地の日本人の方との交流では、行き当たりばったりで食事の場所や時間が決まることが多いです。

・メキシコにはチップ文化というものがあります。集団で行動を取る際は引率の先生がチップを出すので基本的に問題はありません。しかしスーパーマーケットなどで買い物をして単独行動を取る際は、自分で払う機会が出てくると思います。基本的には一人あたり 5 ペソほどなので、あまり高くはありません。

・日本とメキシコの生活事情の違いを知っておくと行動がしやすくなります。例えば、メキシコではトイレにトイレットペーパーを流しません。使用したトイレットペーパーは近くに置いてあるゴミ箱に捨てますので、それを知らずに流してしまうと、トイレが詰まってそのトイレが使えなくなります。

・水が貴重なので現地に来た際は余裕を持った量の水を購入することをお勧めします。トイレや洗顔、手を洗うなど様々な場所で水を使用しますので、万が一水道が止まった時にその水が必要になります。

・メキシコでは英語を話せる人もいますがほとんどの人がスペイン語を話しますので、日常で使う単語程度の英語を勉強しておけば生活には困りません。トイレはどこですか?」「お

腹が痛いです」などの文言は言えたほうがいいです。

・短期留学で行われる講義はほとんどが英語です。専門用語が多く出てくるため、自分の学科に関わる講義はわかりますが、そうでないものは英語ができる人でもわからない部分が多いと思います。

・私が大学であったチャピngoの学生は英語を話すことができる人が多かったですが、ドライバーやガイドの人はスペイン語しか話せなかったです。

・スペイン語を勉強することも必要だとは思いますが、現地の農場実習では常に通訳またはスペイン語のわかる日本人がついているため、日本語だけでも短期であれば生活することができます。スペイン語がわからないけどメキシコに行きたい、という方でも参加しやすい留学です。